

平成13年7月25日

各位

株式会社大京
取締役広報室長 大越 武

大京、各事業所間の内線電話に インターネットによるIP電話を導入

—— 音声系通信回線網を統合したIPネットワークを構築 ——

株式会社大京（本社所在地：東京都渋谷区、社長：長谷川正治）では、大京の各事業所間ならびに大京グループ各社間のネットワークに、IP（インターネット・プロトコル）ネットワーク（＝IP-VPN：注1）を構築することで、すべての内線電話に、VoIP（ボイス・オーバー・IP）技術（注2）を利用したIP電話（注3）を導入することとなりましたので、お知らせいたします。

7月中旬から首都圏の各事業所でIPネットワークの構築に着手しており、8月中旬から9月末までの間に、北海道から沖縄までの各事業所ならびに大京グループ各社、15地区49拠点へIP電話の導入を完了する予定です。最終的には約4,200人のグループ社員が、IP電話を使用することになります。

具体的な各事業所間のネットワークは、株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー（略称「NTT-ME」、本社：東京都千代田区、社長：池田 茂）が提供する次世代IPネットワークサービス「XePhion（ゼフィオン）」（注4）をバックボーンとするもので、IPネットワークと各事業所間は0.5～6M（メガ）ビット/秒の光ファイバー専用回線で接続します。

現在の128K（キロ）ビット/秒～1.5M（メガ）ビット/秒であった各事業所間の通信回線容量は、今回、IPネットワークへ移行することで、これまでの4倍の容量となり、拡大しつつあるネットワークの負荷を解消すると同時に、年間約2,500万円の費用削減が可能となります。さらに、IPネットワークと各事業所間の回線容量は、今後100倍まで拡大可能となります。

大京では、ITへの取り組みとして、①「マンションのIT化」、②「営業のIT化」、③「経営のIT化」の3つのIT化に取り組んできました。

「経営のIT化」に関しては、業務システムのイントラネットへの集約による業務効率化の推進や、チャット技術の活用による社内の情報連絡と意思疎通のスピード化、さらには、大京グループ各社にもインターネットを活用した情報共有を進めるなど、積極的にIT技術を活用した経営の効率化を図ってまいりました。

こうしたIT化への積極推進により、現在利用している各事業所間を専用の通信回線で結ぶ社内ネットワーク体制は、

- ① イン트라ネットなど、社内ネットワークへの集中アクセス
- ② 電子メールなど通信ツールの利用増加と添付データの大容量化
- ③ 画像・動画などの大容量データの通信増大

など、ネットワークへの負荷が増加し、混雑時にはパソコン通信速度が、導入当初に比べて3分の1まで落ちる現象を起こしていました。

IP電話の導入においては、4月からモデル事業所間でIPネットワークを構築し、VoIP技術による音声の品質を検証してきましたが、十分な品質と性能が確保できると判断されたことから、導入に踏み切ったものです。

「営業のIT化」においては、平成7年から大京ホームページを開設し、電子メールを活用した営業を行う専門の営業部隊によるインターネット営業を積極推進しており、昨年度には1,707件、621億円のインターネットをきっかけとしたマンション購入契約実績を上げております。

「マンションのIT化」では、昨年1月から発売したすべてのライオンズマンションに、定額のインターネット常時接続サービスを標準化し、これまでに200棟のインターネットマンションを発売しております。

既存のマンションにおいても、昨年10月に大京とNTT-MEが共同で設立した株式会社ファミリーネット・ジャパン（略称「FNJ」、本社：東京都渋谷区、社長：村山 茂）が、ネット化を推進しており、現在170棟のネット化が決定しております。

大京では、これらのインターネットマンション居住者へのソフトサービスの拡充を図ることで、生活利便性を向上させ、今までになかった住環境を実現していきます。IP電話サービスについても、今回の内線電話への導入のノウハウを基に、お客様へのサービス提供に向けて積極的に取り組んでいく予定です。

注1：IPネットワーク＝IP-VPN（アイピー・ブイピーエヌ）

通信事業者の保有する広域IP通信網を経由して構築される仮想私設通信網（VPN：バーチャル・プライベート・ネットワーク）のこと。IP-VPNを経由することによって、遠隔地のネットワーク同士をLANで接続しているのと同じように運用することができる。

注2：VoIP（ボイス・オーバーIP）

インターネット技術を使った音声通信。音声をIPプロトコルに変換し、IPネットワーク上で通信を行う技術です。

注3：IP電話

IP（インターネット・プロトコル）通信網を利用して音声をパケット（小包）方式で伝送する電話サービスの総称。

注4：XePhion（ゼフィオン）

全国に150カ所のアクセスポイントを持ち、50メガビットから最大600メガビットクラスの大容量により、理想的なECビジネス情報流通環境を実現するIPネットワークサービス。

平成13年4月、NTT-NEでは、同ネットワークをバックボーンとしたVoIP技術による、高品質で格安の通話サービスのアクセスポイントを、全国の主要都市55カ所に拡張して、「XePhion音声IPプラットフォーム」を構築している。

この件に関するお問い合わせ先

株式会社 大京 広報室 （担当 菅原）
TEL 03-3475-3802（直通）